

## コミュニケーションの壁を乗り越えよう

ベン ユセフ エミラ  
BEN YOUSSEF AMIRA

私がチュニジアから日本に来てもう1年ぐらい経ちました。来たばかりのときは、もちろん不安が結構あって、新しい生活に慣れるまで時間がかかりました。

実は、日本への留学を決めた理由の一つは日本人と仲良くなることでした。文化や習慣のなどを教えてもらったり、一緒に遊びに行ったりすれば、友達がすぐにでき、不安もすぐなくなると思っていました。しかし、それは思っていたより難しいことでした。

確かに、友達を作るということは同じ国の人同士でも、そもそも簡単なことではないですが、異文化間のコミュニケーションは非常に大変で、日本人と会話しているとき困ることがかなりありました。なぜなら、日本語の言葉遣いにまだ詳しくないので、なかなか日本人と普通の会話が続けられなく、言いたいことが伝えられなくて、通じない場合があったり、勘違いされた時もあったからです。このようなとき、いつも恥ずかしくなりました。例えば、日本人の友達が言っていることが、ジョークかどうかわからなくて、誰かがジョークを言ってみんなが笑っても、私はわからなくて困りました。そして、クラスメートの会話が盛り上がっているときに、私が言葉の意味がわからなくて聞いてしまうと雰囲気が変わって、嫌でした。それで、このような状況にならないように、話しかけずに済ませることが増えました。しかし、ずっと教室で一人で座って誰とも会話していないと寂しくなってきました。

この悩みを抱えていたとき、この状態が続けば、留学の経験が充実させられなくなるのに気が付きました。それで、なんとかコミュニケーションの壁を越えようと思いました。最初に大事ななのは、自分に自信を持つことです。日本人と話しているときは失敗しても恥ずかしくならず、話を続けるといいと思います。そして、日本語の勉強もとても大切で、毎日、教科書やアプリなどを使って日本語能力向上に励みました。しかし、友達の会話を聞き取るためには、教科書での日本語だけでは足りないので、ユーチューブの動画を見て、普通の若者の話に慣れていきました。このことを長期間続けければ、きっとネイティブのようにコミュニケーションできると信じて続けました。

留学の際、違う国の友達を作るには、コミュニケーションの壁を超えるべきですが、それは簡単なことではありません。自分と相手の文化や言葉の違いを受け入れて、努力して、少しずつこの壁をなくしたら、交流ができるようになったり、友達が作れるようになると学んだ1年でした。これからも、留学生生活を努力しながら楽しんでいきたいです。